

## 《生徒感想》

### 【人文学】『ギリシア・ローマ神話とヨーロッパ文学・芸術』

- 美術館には何度も行ったことがあるけれど、あまりその絵のストーリーやその登場人物にはどんな感情が込められているか考えたことがありませんでした。今回の授業を通して細かいところやその横にある絵画の説明をじっくりと読み自分なりにストーリーを考えてみたいと思いました。
- ギリシャ時代の話と聞いた時、自分が今生きている時代と程遠いと思い理解できるか不安でした。しかし、絵の表現技法から読み取れる感情や場面背景は現代と通じるところがあると感じ、昔の人も今の人と考えていることは一緒なのだと思います。私が一番印象に残った話は、絵の場面転換を映像化させる考え方がギリシャ時代にもあったことです。
- 物語をしっかりと理解することで新しい見方をすることができる絵画の素晴らしさをとても感じました。今の絵は上手か綺麗かで見分けるものが多いですがギリシャの人達は絵に対して面白さなどを見出し、動かない絵に命を吹き込むかのように神話をつくって当てはめていて想像力の豊かさに驚きました。わたしも決まった視点で物事を見るのではなくそこに面白さを見いだし違う視点から物事をとらえていけるようにしていきたいです。

### 【地球市民学】『今だからこそアフリカでのフィールドワークに参加しよう！』

- 知識を得てから実践するのではなく、実践を通してから得られる知識を増やしていきたいと思いました。知りたいことはなんでもインターネットで調べられる今の時代だからこそ、実際に現地に行くなどして、自分が体験することに意味があると感じました。自分の視野を広げるためには、初めから固定された考えにとらわれずに、さまざまな意見を聞いて考えることが大切だと思いました。また、自分だけのユニークな特技を持ちたいと思いました。
- その国の事を知りたいければ、現地に行く事が1番の学びになると思いました。本やネット、授業で、いくら話を聞いたり写真を見て学んだとしても実際に体験し感じる事で得られる学びとは比にならないのだと学びました。だからこれからの人生で「体験」する事ができるチャンスがあったら迷わずに挑戦していきます。そうすれば必ず何か私の学びに繋がると思うからです。そして、生きている中で自分の人生を大きく左右させる瞬間はふと訪れるのだと知りました。だから沢山の挑戦をしようと思う事が出来ました。
- SNSやインターネットが普及した現代において正確な情報を手に入れるために、その情報はどこから、また誰が発信したのかなど見極めることはとても大切なのだとわかりました。また、カタツムリのトラウマの話から、実際の答えは現場に行かないとわからないと先生がおっしゃったことが印象に残りました。今後メディアリテラシーを身につけつつ、実際に目で見て、体験して学びを深めていきたいと感じました。

### 【観光学】『インバウンド観光』

- 観光でのルールだったり、昔の人々の観光についてなど今まで思っていたこととは全く違うことがありとても驚きました。また、S（強み）W（弱み）O（機会）T（脅威）についてみんな意見を出し合うことができました。平安時代の人々の旅は神社やお寺などを回ったり、江戸時代の一般庶民の方々は旅行が認められていなかったが、信仰や療養が目的だと旅行に行くことができると知りました。信仰目的では伊勢参り、療養目的では草津温泉、箱根湯本温泉、有馬温泉などどちらでも今の時代でもとても人気があるところで驚きました。
- 観光を表す言葉でもたくさん単語があることがわかりました。江戸時代に、お伊勢参りや富士山にたくさんの方が行った目的が娯楽ではなく、信仰と療養で言っていたことを知り、今の旅行の目的とは違うことがわかりました。これからどこか旅行などで出かけたとき今回の授業で学んだことを意識してみようと思いました。自分が想像していた観光学よりたくさんを学んで生かせることを知りました。
- 今回模擬授業を受けて、観光の歴史について深く学ぶことができました。観光という言葉は中国の易経から取られた言葉であることを知り、日本は中国から受け継いだものがたくさんあると改めて感じました。また、“tourism”という単語はラテン語でろくろという意味であることを知りました。私たちは普段観光という言葉の口にするものが多いですが、観光という言葉には深い歴史があることに気づかされました。現代では目で見える観光から体験の観光に変わりつつあるので、それを利用して山梨にどのようにしたら観光客が集まるのか考えたいと思いました。

## 【心理学】『心理学入門』

- 最初心理学とは心に関して研究しているのかと思っていました。しかし本当は人の行動に関して研究していると知り驚きました。あることをするとき周りに多くの人がいると誰かがやればいいやという気持ちになる。これは責任の分散による行動のあらわれだということを知りました。自分の習慣も心理学に関連しているのだと思いました。今後自分の習慣や友達  
の習慣を観察してみて心理学のどの分野に繋がっているのか知りたいと思いました。
- 心理は内面的だけかとおもっていたが行動の刺激と反応で研究すると知りました。また、将来心理の専門に就かなくても幅広く職業につかうことができると気づくことができました。心理には答えがたくさんあるから面白いなと思いました。
- 人間が行動するとき働く心理や意識などについて深く学ぶことができました。また、私が日々行なっている行動や他の人の行動において働いている心理的要因を具体的な効果や実験の結果によって学ぶことができました。大学で心理学を専攻する場合には統計学など数学の知識や技能が必要だということが分かったので、文系科目だけでなく理系の科目においても一生懸命勉強していきたいと思えます。

## 【保育・幼児教育（心理学）】『子どもの心をのぞいてみる - 子ども心理学のおもしろさ -』

- 誤信念課題の動画を通して、2歳しか離れていない二人の子供でも、脳の発達によって考え方が違うということに驚きました。小さい子供だから捉え方や考え方が同じなのでは無いかと思っていましたが、全く違う捉え方だと知ることが出来たので、身近な小さな子供と触れ合う機会が合った時には今回学んだことを活かしたいと思えます。そして、いざこざをどのように解決するのかというお話の中で、否定をせず互いの意見を聞くということも忘れずに、過ごしていきたいです。
- こころとは何か考えたとき私は、こころは見えないけれど誰でも持っているもので、人それぞれ違ったものだと考えました。だから共感することがあったり、いざこざが起きたりするのだと思えます。子供のいざこざを保育者は、子供の意見を代弁して、その一人ひとりに共感し、認めてあげることが大切だと学びました。発達心理学や子供心理学を学ぶ上で疑問を持つことが大切だと知ることができ、良かったです。
- 子供達の力を伸ばすためにできるだけ子供の力で解決させることが子供達のために大切だと分かりました。そして保育にも様々な関わり方がある事を知りました。また、資格をどこで取ることができるかや幼稚園は免許が必要ということなど様々なことがわかりました。今回の模擬授業を通して保育について少し専門的、心理的なことを学べました。だからこれからはこの学んだことを生かして子供と関わっていききたいと思えます。

## 【看護学】『ストレスを考える』

- ストレスについてはなんとなく知っていましたが、ストレッサーなど初めて聞くことが多く面白いと思えました。刺激させる種類、心身に過剰な負荷がかっているのは本人にしか分からないことが多いと思うので、向き合って認めてみるのが大事ではないかと思えました。また、自分に合ったストレス解除方法を実施したいと思えました。
- 看護師は病気を治したり、患者さんの相談にのるだけかと思っていました。しかしそれは全く違って治すことやそばに居ることはもちろん、患者さんの行動など隅々を見て患者さん一人一人を理解するという事を知りました。看護師の「看」は手・目と書いて、目は患者さんから絶対話さず何かあったら手を出すということを知りとても感動しました。私も日頃患者さんではなくても友達や困っている人をこんなふうに助けたり手伝ったりしたいなと思えました。
- この模擬授業を通して、看護とは「温かさ」のある職業だと気づきました。近年の若者は自殺で亡くなった方が多い事を知り、ストレスの深刻さを感じましたが、ストレスの対処法や看護の仕方について学び、体と心に寄り添うことで少しでも和らげる事ができる事を知りました。ストレスが溜まった時には、その原因を見つけて対処するために自分の体や心と向き合うことが大切であり、看護とはその壁を乗り越えようとしている人々の背中を押してあげる職業だと学びました。また、看護職とは科学的知識をそのまま利用するだけでなく、その知識をもとに人にしかない温かさや愛情で人々をケアできる素敵な職業だと感じました。

## 【情報デザイン】『情報デザインの心理学』

- 人は自分の見たい情報しか受け取らないことを知って、ありのままの世界を見ることは不可能なのではと思いました。無意識のうちに認識のフィルターを通して世界を見ているので、決めつけるのは危険だと思いました。これから進路を決めていくにあたって、自分の偏差値、興味のある分野で選ぶのはもちろん、先生で選ぶ方法もあることを知りました。勉強して学力をつけることに加えて、今のうちから進路について情報を集めていこうと思います。
- 知能的な事は他の人と同じでも文字だけ認識しづらい人がいたり、見え方がそこまで違うとは知らなかったのが驚きました。また、自分の意識している事に集中し過ぎてしまうと他のことが見えなくなってしまうと実験している映像を見て分かり、あらためて集中するのも大切だが視野を広くする事も大切だと思いました。
- 情報デザインはただプログラミングなどをするだけではなく、人間の心理やどんな情報を目にしているかなどのいろいろなことを学ぶことが出来ました。人間はひとつの事になるとあまり周りを見ることができていないのだと思いました。これを機会に情報デザインはどんなことを学べるのか調べて大学に繋げていきたいと思いました。

## 【薬学・生命科学】『細胞のストレス応答と脳におけるその破綻』

- 私たちの細胞はとても精巧にできているということを知りました。大学で自分が興味を持っていることを学ぶためにも今の勉強を頑張りたいと思いました。
- あまり大学の模擬授業を受けることがないので、大学の様子や大学で実際に行っている授業を聞いて貴重だと思いました。実際に私たちが普段感じているストレスではなく物理的な細胞によるストレスについてマウスで実験を行ってどうなるのか興味深かったです。また人間の脳の大きさやストレス応答がどのように人間の脳に伝わっていくのかなどを詳しく聞いて新しく知識として取り入れることができました。今の高校の勉強をもっと詳しくしたもので難しい単語がいっぱい出てきていてすごく難しいなと感じました。人間として生命科学の話聞くことが面白いと思いました。今後この模擬授業を活かして高校の授業を聞く時に自分の知識を活かして生物の世界を広げていきたいなと思いました。"
- 生命科学について、先生のお話がわかりやすく、マウスやヒトの構造が類似していることについて理解できました。マウスの研究を進めていくことで今原因がわかっていない病気などの原因解明が進まれていくのだということが、研究資料や動画を見て理解を深められたと思います。また、先生のお話の中で日々の授業で習っていることが出てきて（特に生物）1年前の私なら分からなかった内容でも、今の私だと出てくる単語の意味や症状などが分かるようになっていて、勉強をしていることがこのような形で現れてきて嬉しくなりました。これから学んでいくことも大学生活に活かせると考えポジティブな気持ちで授業を受けていこうと考えました。

## 【食品科学・食品開発】『発酵食品と発酵を抑える方法』

- 今日の授業で学んだことは、菌は熱などで殺す、冷蔵庫に入れるヨーグルトなどの発酵食品は菌が生きているなどです。他にも、チーズを作る時に出る液体(ホエイ)を使ったり、その技術がすごいと思いました。自分の何気に使っている身の回りの調味料や食品に菌を殺す作業や味を調節する作業があったと改めて分かりました。とても楽しかったです。
- 酵素のおもなはたらきは、食べ物を胃で消化し、吸収して得られた栄養素からエネルギーを作り出すことだと学び、体に取り込まれた悪い物質を処理して、尿などで体の外に出す役割もあるほか、正常な体の成長や免疫反応、身体機能のコントロールなどのはたらきもあり、とても大切な役割だと学びました。香料が、お茶には入っていたりするから普段お茶を飲む時は入ってるか見てみたり、発酵食品を食べるときはどんな原料からできているか、どのように発酵したのかを確認したりして普段の生活から学んでいきたいと思いました。
- 食品科学は栄養学とは違い、作ってから売る工程までの部分だと知りました。沢山の食品がある中で無駄になってしまっている部分を上手に使い、商品を開発していることを知り、すごいと思いました。

## 【音楽・エンタメ】『作曲入門・音楽と動き』

- 音楽を作る楽しさ、演奏する楽しさを改めて学ぶことができました。学校の校歌や讃美歌など、身近な音楽がどのような仕組みで作られているのか考えながら、歌ってみたいです。
- 創作と聞いてかなり難しそうだなとか、色々専門用語とか飛び交うかと思っていましたが、意外と難しくなくて身近なものでできるのだと知りました。また、伝統的なメロディーを色々な曲で使用していることに驚きました。今後、音楽の鑑賞のときの視点を広くしたり、創作があればそこに取り入れたいと思います。
- 音楽を作曲する中でリズムや音の構成について学ぶことができました。音楽を創作する中で、音符の音に安定や不安定が表現できることを初めて知ることができました。リズムも伝統的なコード進行を使っていて、自分の身近な音楽にも含まれていることを知ることができ、今回は良い経験になりました。